

サンコロナ小田

引き合い強く、生産タイト化

国内外で生地採用相次ぐ

サンコロナ小田がファッション衣料向け生地販売を着実に伸ばしている。「プラダ」に同社の備蓄生地が大量に採用されたことなども背景に国内

外で引き合いが強まっており、主力素材であるポリエステルオーガージーは「生産が追い付かない」（小田外喜夫社長）ほど。

18春夏のプラダの店頭には、同社が備蓄するオーガージーを使用した色鮮やかなワンピースなどの製品が18型並んだ。今秋冬も同様に、アウターの

中に着用するワンピースや部分使いなどに同生地が数多く採用され、日本の同ブランドの各店舗でもそれを確認することができる。

プラダ以外にも、「ヴィクター&ロルフ」「ジュエニー・パッカム」といった有名ブランド向けでもオーガージーやサテンのダブルフェースなどが次々と採用され、中には「共同開発」をうたった商品まである。

ブライダルやインテリア向けを主力とする同社

のファッション衣料向け生地販売の歴史は数年前からとまだ浅いが、小田社長は「ポリエステルオーガージーのサンコロナ小田というイメージが定着してきた」と海外ファッションブランドの攻略に手応えを示す。パリの服地見本市「プルミエール・ヴィジョン」での提案が奏功している。

大している。「簡単なようで（作るのが）難しい素材」と言う生地そのものの魅力だけでなく、豊富なカラー生地を備蓄する機能も国内外のアパレルからの高い評価につながっているようだ。

課題は生産面。糸加工機を保有し、北陸産地で提携機業や加工場とモノ作りを進める同社だが、国内外から注文が殺到する現状、生産が追い付かないケースが出てきた。織機を購入した上で提携機業に貸与するなどの設備投資と、効率的な産地コンバーティングで乗り切る。

川（同越前市）の「天然鉦石繊維」を中わたに用いるなど福井県内企業の手を結集している。11月22日に販売を始める。

新商品には第一織物の「ディクロス」を採用した。ダウン抜けせず、防

福井企業とのコラボ商品
第一織物の生地など使用

ファッション電子商取引（EC）サービス「Dコレ」を運営するドラフト（福井県あわら市）は、「中綿インナーベスト」を商品化した。第一織物（同坂井市）の生地を使用するほか、ユメロン黒



「中綿インナーベスト」

宮田毛織工業

エコを目

染色整理

丸編み地製造販売の宮田毛織工業（愛知県一宮市）は、サステイナビリティ（持続可能性）の